

日興USグローイング・ベンチャーファンド

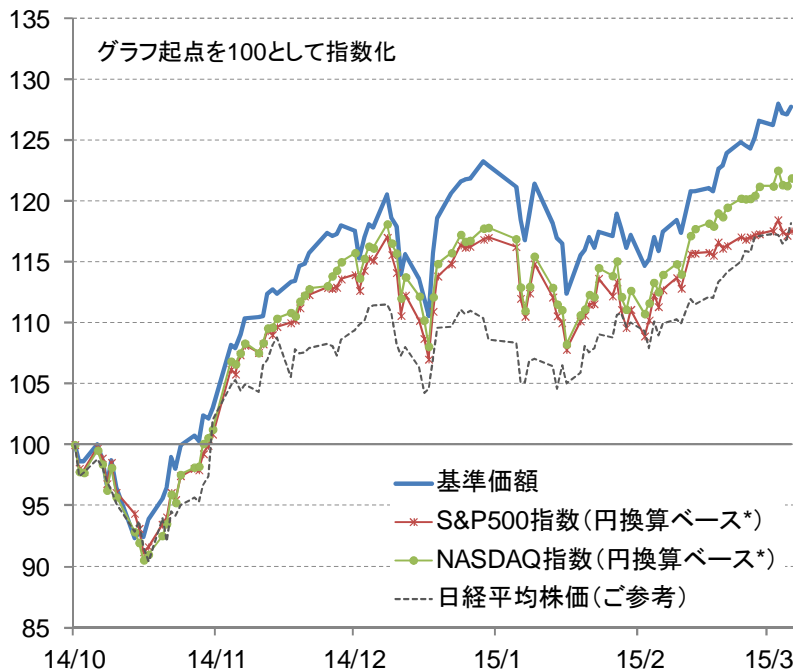
躍進する米IPO市場と今後の展望  
～ラザード社からのメッセージ～

- 米国株式市場では、米景気回復を背景に主要株価指数が最高値更新を続けるなど、堅調な推移を続けています。そうしたなか、IPO(新規株式公開)市場においては上場企業数などが2001年来の高水準となる活況をみせるなか、当ファンドのパフォーマンスは上昇基調となっています。
- 本資料では、足元の米IPO市場における着目点と今後の展望などについて、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(以下、ラザード社)より、運用チームからのコメントとあわせてご紹介いたします。

米国株の中でも際立つ当ファンドのパフォーマンス

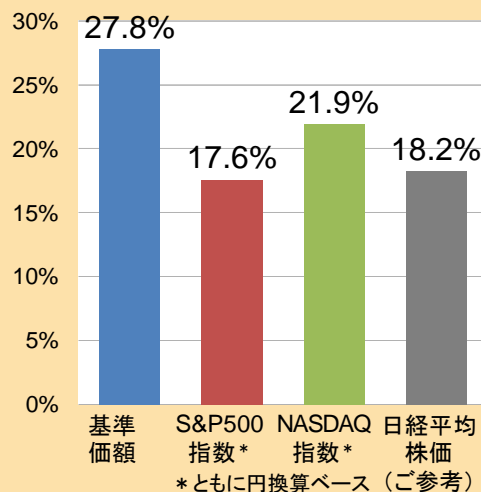
＜当ファンドの基準価額および主要株価指数の推移＞

(2014年10月1日(設定日)～2015年3月6日)



＜左記期間の騰落率比較＞

(2014年10月1日(設定日)～2015年3月6日)



\* 当ファンドの基準価額の算出方法に準じ、前営業日の株価に当営業日の為替レートを乗じて、日興アセットマネジメントが算出しています。  
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。主要株価指数は配当込指数を使用しています。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記株価指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。  
 ※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

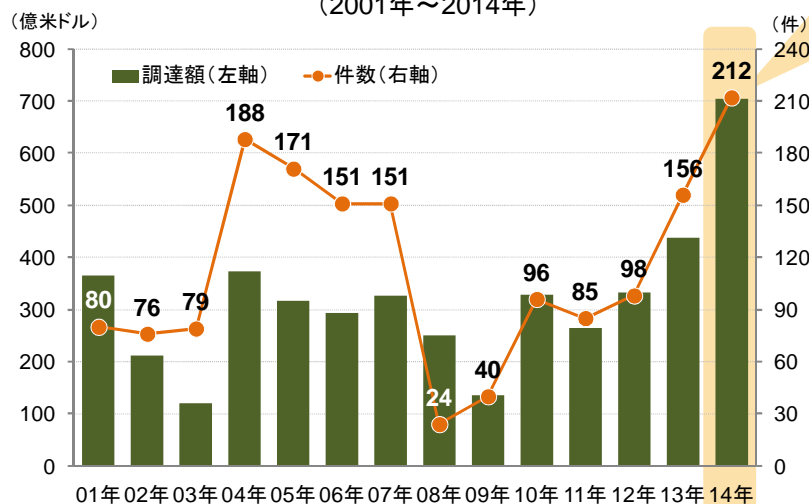
# 株高を背景に、急増した2014年の米国でのIPO

- 米国のIPOは近年、景気回復や株価上昇などを背景に増加傾向をみせており、2014年には、調達額、件数ともに2001年以降で最も高い水準となりました。
- 件数の内訳を見ると、ヘルスケア、金融、情報技術が中心となっています。また、9月に公開したアリババ社の調達額が話題になるなど、資金調達機会を求めて米国でのIPOを果たす海外企業も見受けられます。

## 米IPO市場は、調達額、件数とも大きく躍進

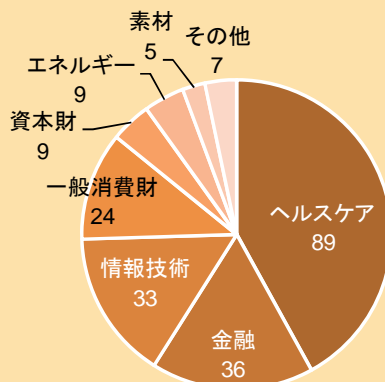
＜米国のIPO市場の推移＞

(2001年～2014年)



＜IPO企業のセクター別件数＞

(2014年)



＜2014年に米国でIPOを実施した銘柄の調達額上位10銘柄＞

順位	銘柄名(国籍)	業種	上場日	調達額 (米ドル)	調達額 (円)
1	アリババ・グループ・ホールディング(中国)	情報技術	9月18日	250.3億	3.0兆
2	シチズン・フィナンシャル・グループ(米国)	金融	9月23日	34.6億	4,154億
3	シンクロニー・フィナンシャル(米国)	金融	7月30日	29.6億	3,546億
4	サンタデルコンシューマーUSAホールディングス(米国)	金融	1月22日	20.7億	2,484億
5	IMSヘルス・ホールディングス(米国)	ヘルスケア	4月4日	15.0億	1,794億
6	グルホ・アバル・アグシオネス・イ・パロス(コロンビア)	金融	9月22日	11.0億	1,320億
7	パルスリー・エナジー(米国)	エネルギー	5月22日	10.6億	1,277億
8	ライス・エナジー(米国)	エネルギー	1月23日	10.5億	1,260億
9	モービルアイ(イスラエル)	情報技術	7月31日	10.2億	1,228億
10	カタレント(米国)	ヘルスケア	7月30日	10.0億	1,202億

\*1米ドル=120円として換算。

※ 上記は、個別銘柄の売買を推奨するものでも、当社ファンドにおける保有の有無、並びに将来の組入れもしくは売却を示唆するものでもありません。また、当ファンドが組入れる銘柄などのパフォーマンスを示唆するものではありません。

ラザード社提供のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# 米IPO企業は、「量」だけでなく「質」も大きく向上

- 米IPO市場活況の背景には、企業の「変化」が挙げられます。かつてのITバブル期と比較して、IPO企業は、収益や財務面での改善が進んでいることに加え、IPOの実施も、適切なタイミングを見計らう傾向がみられることから、結果として、IPOを果たした企業は、投資対象としての洗練度が増していることがうかがえます。
- その結果、上場後も株価上昇のポテンシャルが総じて高まっていると考えられ、中長期的な投資により相応しい投資対象となりつつあります。

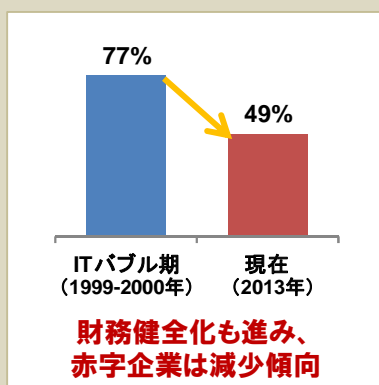
## 米IPO市場は、ITバブル期から様変わり

### 大きく改善した企業体質

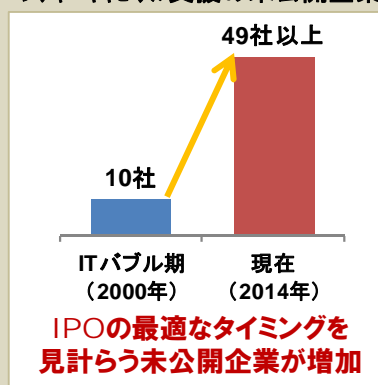
IPO企業の売上高  
(中央値)



IPO企業の  
赤字企業割合



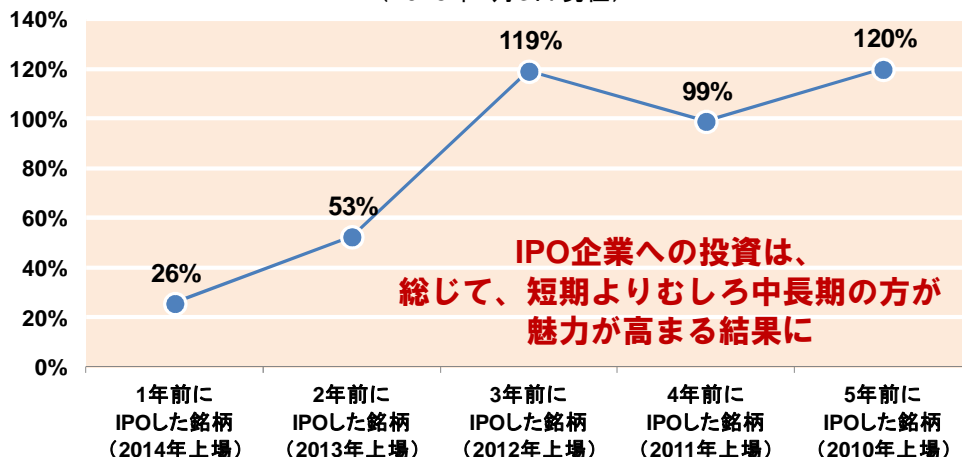
企業価値が  
10億米ドル(約1,200億円\*)以上の  
ベンチャーキャピタル支援の未公開企業数



\*1米ドル=120円として換算。

### <IPO年別の平均騰落率(全銘柄)>

(2015年2月3日現在)



ラザード社提供のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# 引き続き、堅調が期待される米国株式

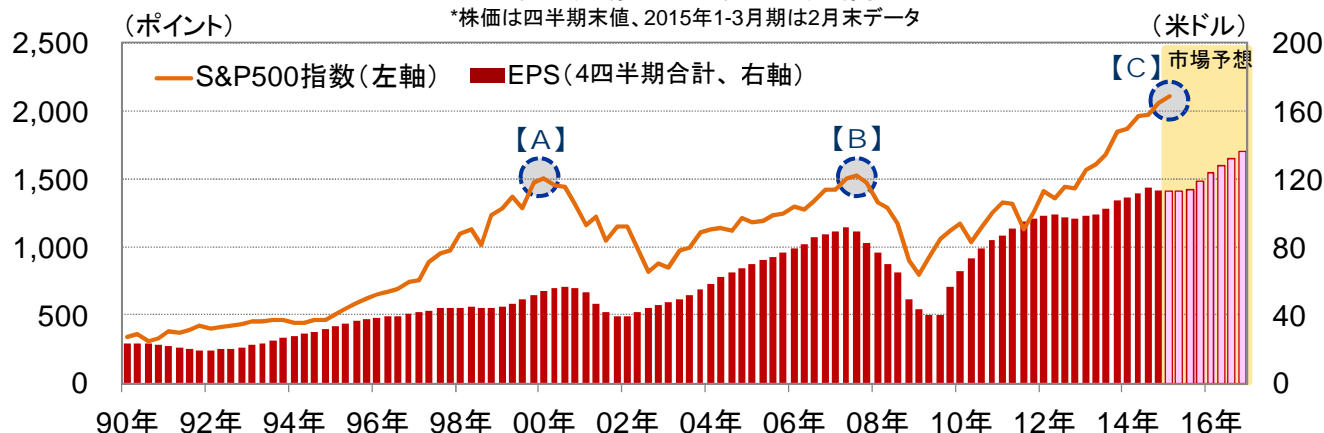
- 米国株式は、底堅い米景気回復を受けて足元で高値更新を続けるなか、米国企業のEPS(1株当たり利益)は増加傾向にあり、2015年も増益が見込まれています。
- 株価バリュエーション指標からは、過去の高値水準と比較して企業の健全性が増しているほか、他地域と比較した収益性も堅調となっていることから、これからの米国株式を下支える材料になると考えられます。

## 企業業績の拡大見通しなどを背景に、高値更新を続ける米国株式

＜S&P500指数の株価とEPS(1株あたり利益)の推移＞

(1990年1-3月期～2016年10-12月期予想\*)

\*株価は四半期末値、2015年1-3月期は2月末データ



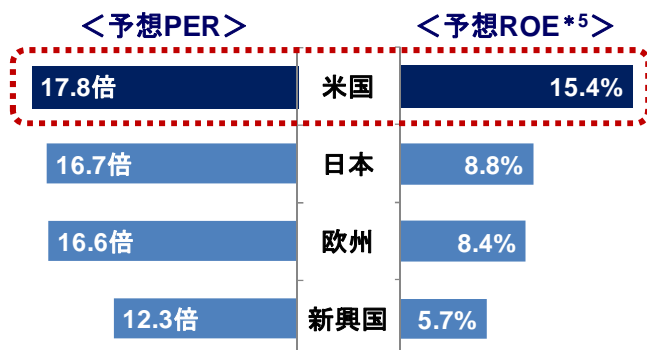
過去の高値時と比較しても  
米国株式は健全とみられる水準に

企業利益率の高さも米株高を裏付け

過去の高値水準と比較した  
S&P500指数のバリュエーション

主要地域の予想PERと予想ROE水準  
(2015年2月末)

上記グラフ内の期間	【A】	【B】	【C】
株価	1527.46	1565.15	2104.5
予想EPS(*1)	58.0	93.9	118.5
予想PER(*2)	26.3倍	16.7倍	17.8倍
フリーキャッシュフロー回利(*3)	2.6%	1.1%	5.1%
純債務/EBITDA比率(*4)	3.9倍	4.6倍	1.6倍



米国: S&P500、日本: TOPIX、欧州: ユーロ・ストックス600、新興国: MSCIエマージング指数

\*1: 1株あたり利益、\*2: 株価収益率、\*3: 株価に対する1株あたりフリーキャッシュフローの比率で、高いほど増配や投資が期待される。  
\*4: 企業の純債務を、利払い・税金・償却前利益(EBITDA)で割ったもので、利益に対する債務割合を示したもの。\*5: 株主資本利益率

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# ファンドの運用について～運用チームからのメッセージ～①

## 個人消費が後押し、米経済は10年来の明るい見通し

- ◆ 米国では、債務の減少に加え、資産効果(株高、不動産価格の回復など)が寄与し、家計、政府共にバランスシートの改善トレンドが続いています。雇用に関しても、2008年の世界的な金融危機以降に発生した失業者800万人を、2010年以降の新規雇用者1,120万人がカバーし、月間20万人ペースの新規雇用トレンドが定着しつつあります。また、昨年後半から下落した原油価格についても、エネルギー分野の雇用減少が一部で懸念されているものの、総雇用者数に占める割合は1.4%程度(2014年6月)と影響は限定的であり、むしろ消費者心理の改善に伴ない、GDPの約7割を占める個人消費にポジティブに働く見込みです。
- ◆ 景気回復6年目に突入した米国経済ですが、こうした材料を背景に、世界で最も明るい見通しを持てるだけでなく、過去10年間で最もポジティブな段階に移行していると考えています。



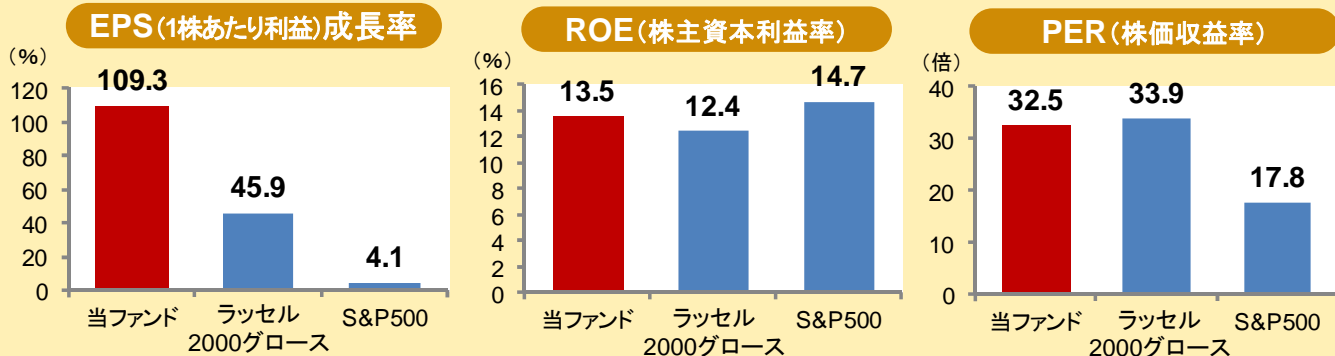
ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー  
マネージング・ディレクター  
パトリック・ライアン

## 米IPO市場は、イノベーションを強みに高成長が見込まれる

- ◆ 2015年の米国IPO市場に関しても、好調な米国経済を背景に活況が継続する見込みです。IPO企業の多くがイノベーションによって「新しい価値」を創造し、成長を実現していることから、株式市場の一部で懸念されている米ドル高や世界景気減速の悪影響をあまり大きく受けず、独自の成長を続けるものと考えています。
- ◆ ポートフォリオでは、引き続き、イノベーションによって高成長が見込まれる新興企業の発掘を継続していく方針です。なお、2015年2月末時点では、ポートフォリオ全体の予想1株当たり利益(EPS)成長率は+109.3%と、小型株中心のラッセル2000グロス指数やS&P500指数と比較して、圧倒的に高い成長性が見込まれます(下図参照)。これも銘柄選定の強みと考えており、今後も、ラザードの強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、最適な投資機会の発掘に努めてまいります。

### <ご参考:主要株価指数との比較>

(2015年2月末現在)



※「当ファンド」は、マザーファンドの組入銘柄をもとに算出しています。ラザード社提供のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は、当ファンドのマザーファンドを運用するラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# ファンドの運用について～運用チームからのメッセージ～②



ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー  
マネージング・ディレクター(テクノロジー担当)  
クリストファー・ウィットニー

## 革新的なイノベーションが期待されるテクノロジーセクター

- ◆ テクノロジーセクターは、20年に一度のパラダイムシフト(革新的変化)の真っ只中にあります。その中心にあるのが、「モバイル・コンピューティング」によって生み出される新ビジネスや、「クラウド」の出現による業界構造の変化です。
- ◆ 今般、人間だけでなく、モノがインターネットにつながることで、企業が扱うデータ量は爆発的に増え続けており、その莫大なデータを活用したビジネス機会が生まれています。新興テクノロジー勢力が急速にシェア獲得を進めていることから、2015年は、昨年以上に勢いを増すと期待されます。
- ◆ また、下図からもわかるように、現在のテクノロジーセクターは、過去の株価ピーク時と比較して、収益性や財務健全性が改善しているだけでなく、バリュエーション面では割安な水準にあり、同じ株価上昇局面でも、これまでとは質的に「似て非なる状況」にあるといえます。

テクノロジーセクターは、  
株価指標面からみても、  
体質改善により  
投資妙味が高まっている

S&P500情報通信セクター		1999年12月末	2007年12月末	2015年2月末
バリュエーションPER(株価収益率)		65.4倍	23.4倍	19.5倍
収益性	粗利益率	40.1%	42.5%	48.8%
	EBITDAマージン比率	19.8%	19.9%	28.0%
健全性	1株当たりキャッシュフロー	17.6米ドル	27.6米ドル	56.3米ドル

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## オバマケアを追い風に、今後も堅調が見込まれるヘルスケア

- ◆ ヘルスケアセクターは、オバマケア(医療保険制度改革)によって投資機会の拡大が見込まれており、そのドライバーともされるバイオテクノロジーの研究開発分野などには、IPO企業が多く存在することから、今後も堅調な成長が期待できると考えています。
- ◆ また、家畜やペット向けの医薬品である「アニマル・ヘルスケア」にも注目しています。同分野は、①新興国を中心とした食肉需要の増大、②世界規模でのペット需要の拡大、③ペットの高齢化、という3つの大きな長期トレンドにおいて、力強い成長が続くと予想されることから、これらの分野で恩恵を享受できる企業に注目しています。

※ 上記は、当ファンドのマザーファンドを運用するラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

機関投資家や公的年金を中心に、世界展開するトップクラスの資産運用会社

## ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー

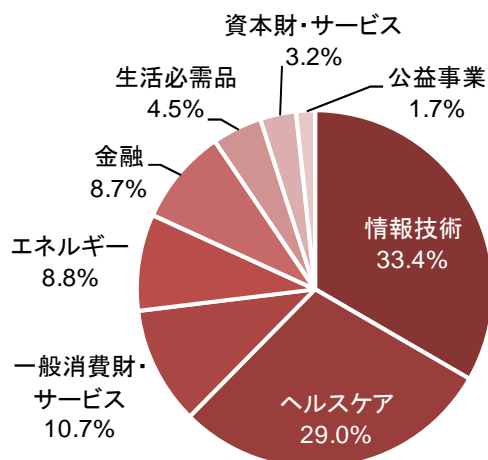
- ラザード社は、米国・ニューヨークを拠点とする資産運用会社で、160年超の歴史を持つ投資銀行であるラザード・フレール・アンド・カンパニー・エルエルシーの資産運用部門として1970年に設立されました。
- 株式運用に注力し、**米国株式運用で高い評価を獲得しており、米大手公的年金や政府系ファンド(SWF)との取引実績**を有することなどが、その実力を物語っています。

LAZARD  
ASSET MANAGEMENT

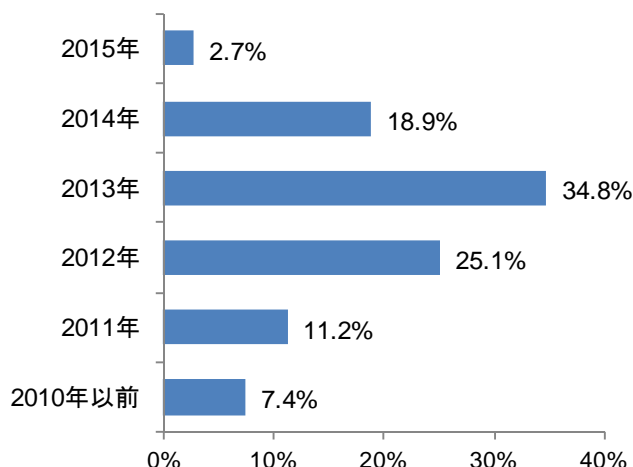
■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオ概要(2015年2月末現在)

<業種別構成比率>



<IPO年次別構成比率>



※マザーファンドの状況であり、比率は組入銘柄の評価額の合計を100%として計算したものです。

### <株式組入上位10銘柄>

(銘柄数: 50銘柄)

順位	銘柄	業種	比率	銘柄解説
1	FACEBOOK INC-A	情報技術	6.2%	ソーシャルネットワーク・ウェブサイト大手運営会社。ポストスマートフォン時代を見据えて、積極的にM&Aを展開中。(2012年5月上場)
2	ZOETIS INC	ヘルスケア	4.8%	家畜とペットに特化した動物向け医薬品やワクチンを研究開発、製造、販売する医薬品メーカー。(2013年2月上場)
3	QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	ヘルスケア	4.4%	バイオ医薬品開発および商業アウトソーシング・サービスを手掛けるバイオ医薬品メーカー。(2013年5月上場)
4	MARATHON PETROLEUM CORP	エネルギー	3.8%	石油製品の精製、輸送、販売を手掛ける石油会社。(2011年6月上場)
5	NXP SEMICONDUCTORS NV	情報技術	3.2%	モバイル通信、セキュリティアプリケーション、車載向けの半導体、ソフトウェアを開発・販売する半導体メーカー。(2010年8月上場)
6	AIR LEASE CORP	資本財・サービス	3.2%	航空会社へのリースを世界各地で手掛ける航空機リース会社。(2011年4月上場)
7	MALLINCKRODT PLC	ヘルスケア	3.1%	特殊医薬品および造影剤の開発、製造、販売を手掛ける製薬会社。(2013年6月上場)
8	VANTIV INC - CL-A	情報技術	3.0%	支払・決済サービス会社。情報ソリューション、詐欺管理などのサポートサービスも提供。(2012年3月上場)
9	BLACKHAWK NETWORK HOLDINGS I	情報技術	2.8%	消費者・企業向けプリペイド決済・金融決済製品の大手プロバイダー。(2013年4月上場)
10	VOYA FINANCIAL INC	金融	2.6%	米国の個人・法人向けに退職年金、投資、保険サービスを手掛ける投資会社。(2013年5月上場)

※マザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。また、上記銘柄について、将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

- 1 企業の飛躍的成長の契機となるIPOに着目し、公開後5年以内の企業の株式を中心に投資を行ないます。
- 2 世界の中でもIPOが盛んな米国の上場企業を投資対象とし、高成長が見込まれる企業に厳選投資します。
- 3 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項①

### ■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

### 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

(次ページに続きます)



## お申込みに際しての留意事項②

### ■ リスク情報(続き)

(前ページより続きます)

#### 信用リスク

投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

#### 為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

#### 有価証券の貸付などにおけるリスク

有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク(取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク)を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

## お 申 込 メ モ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／株式
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2024年9月10日まで(2014年10月1日設定)
- 決算日 : 毎年9月10日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。  
※配当控除の適用はありません。  
※益金不算入制度は適用されません。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### ＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.78% (税抜3.5%) を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

### ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.8576% (税抜1.72%) を乗じて得た額
- その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用 (業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬 (有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54 (税抜0.5) を乗じて得た額) などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第368号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 投資顧問会社 : ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社  
(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
[コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書 (交付目論見書) のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○		○	

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様にご「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。